

ひょうごらくのうメモ

4

2020 APR



らくのうひょうごフェスティバル絵画コンクール入賞作品
(淡路市 おか本りょうたさん 3年生)



WEB



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

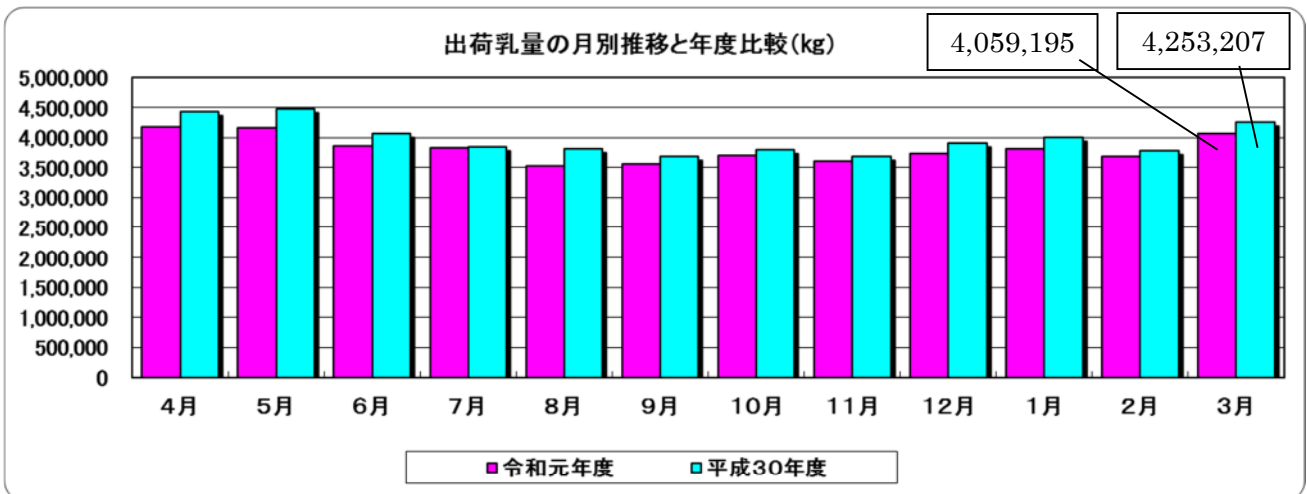
生乳生産量統計

1. 全国（令和2年2月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（%）
平成31年 4月	622.4	99.9
令和 元年 5月	644.2	99.5
令和 元年 6月	618.9	99.7
令和 元年 7月	623.3	101.1
令和 元年 8月	595.6	98.2
令和 元年 9月	583.5	104.1
令和 元年10月	601.9	101.0
令和 元年11月	585.4	101.0
令和 元年12月	616.0	101.1
令和 2年 1月	624.9	101.5
令和 2年 2月	596.5	105.2
令和 元年度累計	6712.6	100.0

2. 兵庫県酪農協取扱い分（公共施設を除く）

地 区	令和 2年3月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	635,241	94.3	7,395,032	95.6	23
播州地区	1,145,714	93.7	13,098,918	98.0	36
丹但地区	353,260	90.4	4,028,212	87.2	18
淡路地区	1,924,980	97.9	21,176,857	96.1	110
合 計	4,059,195	95.4	45,699,019	95.7	187



理事会報告

令和2年3月27日（金）、西神文化センター202号室において、令和元年度第8回理事会を理事6名、監事2名同席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和元年度生乳計画生産進捗状況、2月1日時点戸数・頭数調査結果、令和元年度見込決算、令和元年度組合員の異動状況、近畿生乳販連について、生乳増産対策事業2月末実績見込、を報告の後、次の事項について協議を行った。

① 第5回通常総会の開催日程について

令和2年度（第5回）通常総会の開催日程及び開催場所を以下の通り決定した。

【開催期日】

6月29日（月）午後1時30分

【開催場所】

西神文化センター4階 大ホール

② 旅費規程（別表）の一部改正について

事業管理費の削減を実行するため、旅費規程内の組合管内（兵庫県内）における旅費日当部分を削除する事を決定した。

② 組合員加入申込の承認について

親子間における経営の売買に関連して、組合員加入申請があったので加入の承認を行った。

③ 生乳事故発生状況及び生乳の安全性及び品質確保に係る対応について

生乳賠償保険の適用事故が頻発している状況下で、事故の再発防止に加え、「生乳の安心・安全」の確保に対する組合の姿勢として、具体的な方策等を協議・検討を行った。

情報の収集、実態を把握した上で対策等を再度協議する事で継続協議とした。

その他として、総会までのスケジュール、次年度収支予算の組立てを協議した。

○ 主な行事予定

（4月）

22日 内部管理職会議

23日 理事会

（5月）

1日 内部職員会議

11日 役員推薦会議

14日 決算監査会

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言

言発令により、当初予定されておりました会議・行事等について大幅に変更されております。

記載の予定についても今後の状況により変更となる場合があります。

粗飼料『オーツヘイ』について

全国酪農業協同組合連合会 田村浩靖

いつもお世話になっております。全酪連の田村と申します。

今年も例年以上に厳しい夏であるという話が出ております。そして毎年いろいろな方法で暑熱対策をされているかと思えます。特に乳脂肪の低下については多くの方が頭を悩ませる問題かと思えます。

今回は暑熱対策の1つとして、嗜好性の良いオーツヘイの給与をぜひ検討していただきたくご提案致します。

1. オーツヘイとは

オーツ麦（エン麦）の牧草型の品種で一年草であり、日本向けに輸出されているオーツヘイは大半が豪州産となっております。播種時期は4-5月頃（秋）であり、9-11月頃（春）に年1回収穫されます。南半球での生産であることから新穀時期が北米産粗飼料と異なる点が特徴の一つです。

オーツヘイの特徴

- 1) 嗜好性が良い：禾本科牧草の中では糖度が非常に高い
- 2) 優れた消化性：低リグニン／低NDF
- 3) 刈り取りが年1回：生産量・作柄・品質が天候によって大きく左右される

2. 全酪連のオーツヘイ。

現在、全酪連大阪支所管内のオーツヘイは、Mackie Hay ブランドで知られる Gilmac 社（豪州最大手のサプライヤー）からの製品を供給しております。当該サプライヤーは3つの州で、5つの工場（西部に3工場、東、南部に1工場ずつ）、7つのプレスラインで作業をしています。工場を3つの州におくことで天候・作柄などの産地情勢に応じて出荷工場を変更し、リスクを少しでも回避することが可能となります。

プレス作業の工程

オーツヘイの原料草はティーザーと呼ばれる機械を通り、ほぐし・裁断された後異物除去ボックスを通過します。異物除去ボックスでは風による噴射と磁石により、ヘイと土砂などの異物を選別します。これらの工程はオーツヘイ工場独自のものであり、オーツヘイが他の輸入粗飼料と比較して異物混入が少ない理由となっております。

3. 19年産オーツ情勢

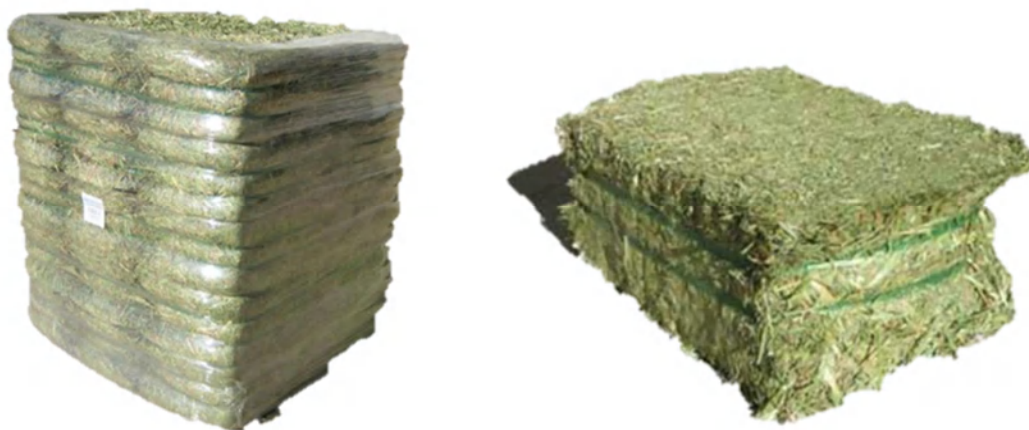
豪州全体では、干ばつ気味ではあったものの収穫期間の天候に恵まれ、MH1 などの上級グレード（水溶性炭水化物「WSC（＝糖度の指標）」の値が比較的高いもの）の発生が大半で、下級品の発生は限定的となっています。上級グレードの18年産との比較では、細かめで成分が高いものが増えてきています。

4. オーツ給与について

夏場の乾物摂取量低下時・乳脂肪対策として

暑熱ストレスは、乳質の変化をもたらしますが、一番の変化は乳脂肪が低下してしまうことだと思います。乳脂肪の生成は粗飼料等の繊維を分解して得られる酢酸・酪酸からの由来が大半を占めており、いかに粗飼料を給与させるかが重要となります。

夏場の暑熱ストレス時は乾物摂取量が低下します。低リグニン／低 NDF（リグニン含量が低い方が発酵熱は少ない）で消化性に富み、糖度が非常に高いオーツヘイは他の粗飼料に比べ嗜好性の良い牧草（よく食べるもの）といえます。



今月より、オーツヘイの価格を下げております。今年の夏も暑いとのことですのでまずは十分粗飼料の給与としてオーツヘイのご利用を検討してはいかがでしょうか。

暑熱対策、乾乳牛にも有効的に給与していただきたいと思っております。

皆様のご利用お待ちしております。

※ご用命、お問い合わせは…。

全酪連大阪支所 近畿事務所 TEL 0794-62-5441

淡路 SP TEL 0799-42-1330 まで。

淡路家畜市場情報

令和2年3月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	20	169,785	238,700	62,700			56
前回	26	163,265		237,600	9,900			55	6,520	4.0%	
前年	15	286,128		325,080	209,520			56	-116,343	-40.7%	
オス	今回	20	208,065	275,000	41,800			54			
	前回	18	216,578	320,100	14,300			57	-8,513	-3.9%	
	前年	11	274,811	354,240	146,880			54	-66,746	-24.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年	1	11,880		11,880	11,880			33	-11,880	-100.0%	
オス	今回	12	78,378	107,800	33,000			52			
	前回	11	47,500	6,000	3,300			54	30,878	65.0%	
	前年	16	82,553	104,760	21,600			50	-4,175	-5.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和2年2月25日・前年は平成31年3月9日

令和2年3月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	18	172,700	210,100	134,200			56
前回	20	169,785		238,700	62,700			56	2,915	1.7%	
前年	22	328,075		368,280	226,800			55	-155,375	-47.4%	
オス	今回	9	212,178	287,100	33,000			53			
	前回	20	208,065	275,000	41,800			54	4,113	2.0%	
	前年	13	341,114	386,640	91,800			55	-128,936	-37.8%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年											
オス	今回	10	60,720	11,100	1,100			46			
	前回	12	78,378	107,800	33,000			52	-17,658	-22.5%	
	前年	10	139,752	174,960	24,840			47	-79,032	-56.6%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は令和2年3月9日・前年は平成31年3月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
29年次	92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
元年次	70,885	965	98,240	1,509	259,810	324	74,068	101,375	
元	1	96,634	84	91,423	129	82,370	41	103,499	7,937
	2	83,372	97	107,560	108	63,720	34	117,485	7,562
	3	115,483	56	132,371	145	102,376	29	138,663	8,229
	4	143,383	84	146,149	124	150,048	15	145,203	8,497
	5	151,684	58	164,849	91	141,210	16	141,762	7,937
	6	150,840	45	170,586	80	140,498	11	141,101	7,293
	7	141,452	76	151,626	114	148,163	16	134,807	9,403
	8	104,232	88	122,523	172	87,246	37	109,114	9,293
	9	91,330	85	95,559	127	67,068	20	103,513	8,950
	10	82,040	122	75,136	167	65,511	36	94,142	9,866
	11	84,258	87	85,333	132	82,847	38	104,394	8,138
	12	88,066	83	85,149	120	67,384	31	104,367	8,270
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2	96,692	71	84,897	123	65,956	25	116,657	7,445
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
29年次	266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
元年次	231,312	4,603	315,474	4,355	417,230	1,764	212,359	150,447	
元	1	271,973	278	281,940	378	331,981	113	260,053	12,131
	2	273,423	374	289,143	353	331,340	157	270,756	11,986
	3	296,616	357	314,143	348	356,184	160	294,041	11,958
	4	335,816	322	351,428	314	370,145	161	319,085	12,054
	5	361,670	315	368,655	349	393,614	153	325,752	11,875
	6	380,866	248	373,227	298	409,417	111	321,745	10,430
	7	367,992	409	373,248	280	419,466	109	322,123	12,229
	8	325,819	408	311,976	451	377,289	129	281,821	12,799
	9	273,749	488	247,863	400	305,611	147	257,885	13,184
	10	252,165	457	242,155	425	294,762	147	240,944	14,517
	11	258,193	444	236,865	371	283,248	211	233,550	13,315
	12	261,363	503	242,522	388	292,567	166	232,958	13,969
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2	240,332	538	222,488	359	257,248	173	227973.1535	13156
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道乳牛産地情報

(令和2年4月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	4.0～4.7	横這い	札幌管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で105.6%、累計で100.4%、苫小牧管内月計で100.8%、累計で99.3%の実績となっております。 4月の初妊牛動向といたしまして、6月～7月分産が中心となります。資源についてはF1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できると思われます。3月の管内乳牛市場の相場は強含みとなりまして、クラス別にみると特に特選クラスの価格が上がりつつあります。庭先購買の中クラス以上の初妊牛は、3月同様に77～87万円の価格になると思われます。また、先月同様、初妊牛の高止まりにより、経産牛を求めざる動きが依然としてあるため、価格は横這いになるかと思われれます。
	初妊牛	7.7～8.7	横這い	
	経産牛	5.2～6.2	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	4.0～5.0	横這い	根釧管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で102.0%、累計は100.8%、中標津管内月計で103.5%、累計で103.1%の実績となっております。
	初妊牛	7.5～8.5	横這い	4月の初妊牛動向といたしまして、6月～7月分産が中心となります。3月の管内乳牛市場が高値を維持した相場となったため、4月の庭先購買価格も横這いで動くものと思われれますが、腹別における価格推移としては、F1腹は堅調に推移するものと思われ、雌雄選別腹・和牛E.T腹はやや軟調に推移するものと思われれます。初妊牛の高値維持につられて、経産牛についても月齢が若く、乳器など程度の良いものは堅調に推移するものと思われれます。
	経産牛	5.0～6.0	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	4.3～5.0	横這い	帯広管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で102.8%、累計で103.5%の実績となっております。
	初妊牛	8.0～9.0	やや強含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月～7月分産が中心となります。管内乳牛市場は高値が続いており、庭先購買価格も高値を維持しております。新年度に向けて各種導入助成事業を活用した導入計画の情報も入ってきており、今後導入意欲が旺盛となることと予想され、相場はやや強含みに推移するものと思われれます。資源はF1腹・雌雄選別腹ともに、十分に確保できるものと思われれます。経産牛も初妊牛の高値により、産歴の少ない経産牛は高値で取り引きされており、経産牛の上場頭数は限られており、オーダーがありまして早めにご連絡いただきますようお願い致します。
	経産牛	5.5～6.5	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	4.0～5.0	横這い	道北管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、稚管内月計で102.3%、累計で100.8%、北見管内では月計で100.9%、累計で101.2%の実績となっております。
	初妊牛	8.0～8.8	やや強含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月中旬分産以降が中心となります。資源頭数は前年より多いと予想されますが、6月分産予定のF1腹・雌雄選別腹ともに引合いは強いと思われれます。庭先購買価格もやや強含みで推移すると思われれます。春分産可能な育成牛や受胎した経産牛も需要があり、こちらも横ばいで推移するものと思われれます。ご希望がございましたら早めにご連絡いただきますようお願い致します。
	経産牛	5.0～6.0	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	4.3～5.3	横這い	道内の3月中旬までの生乳生産量前年比は102.5%、累計で102.2%の実績となっております。令和元年度の北海道の生乳生産量は順調に伸びており、道内におけるギガファームの導入意欲は旺盛な状況が続いております。
	初妊牛	8.0～9.0	やや強含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月～7月分産中心となります。各地域、資源は十分確保されるものの、道内外での導入意欲は強く、新年度に入っても堅調な相場が維持されることが予想され、庭先相場では中クラス以上の初妊牛が80万台中心で推移していくものと思われれます。弊会と致しましては、引き続き、庭先選着購買中心にニーズに応えた安定した搾乳素牛を供給して参りますので、今後、導入計画がありましてらご相談・ご注文を頂きますようお願い致します。
	経産牛	5.0～6.0	横這い	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選着購買による予想相場です。

庭先選着購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいただけよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
 釧路事務所 ☎(0154)52-1232
 根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
 帯広事務所 ☎(0155)37-6051
 道北事務所 ☎(01654)2-2368

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

3月に多くの船会社で、コンテナ1本当たり\$50から\$100のGRI（海上運賃一斉値上げ）が実施され海上運賃が値上げされました。4月以降も各船社GRI実施を予定していますが、新型コロナウイルスの影響で、通常に比べ貨物の流通量が減少していることから船腹の余剰を懸念しGRIのタイミングを凶っている船会社も出てきております。今後の海上運賃の動向に注視が必要です。

米国西海岸全域では現在不要不急の外出が禁止されていますが、港湾ターミナルは、必要不可欠な産業に区分され引き続き稼働しています。しかしながら寄港する本船が減少しているためターミナルの営業時間が通常時よりも短縮されています。この影響で荷積みされたコンテナがターミナルへの搬入期日に間に合わず日本への入船が遅れるというケースが増えています。

コンテナ船の運航については、世界的景気の減退を受け各船社、サービスの調整を行っています。日本向けでは4月にPNWから出港する本船の減便が船社より発表されています。このため運航を続ける本船に貨物が集中しており、引き続き船腹は逼迫、予約も取りづらくなっている状況です。

ビートパルプ

【米国】

各製糖工場の作業は順次終了しており、4月下旬までに全工場で19年産の作業を終える見込みです。昨年は6月まで同作業が実施されていたことから、19年産は前年比で1ヶ月から2ヶ月早く工場での作業が終了していることとなります。

20年産の作付面積については、現時点では昨年並みから地域によっては増加が期待されています。アイダホ州やミシガン州では新穀の播種作業が既に開始されています。この先3週間、各ビートの生産地では良好な天候が期待されており各地で播種が始まる予定です。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでのアルファルファの生育は順調に進んでいます。最近やや冷涼な日が続いているようですが、このまま順調に生育が続けばコロンビアベースンでは1番刈の収穫作業が5月上旬から中旬かけて開始されることが見込まれています。19年産産地在庫はほぼ成約済みで産地価格は堅調です。

オレゴン州

オレゴン州南部クラマスフォールズでは冬季の積雪が少なく生産には影響ないものの早魃傾向にあります。アルファルファの作付面積については大きな増減なく昨年並みとなる見込みです。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、3月上旬に20年産1番刈の収穫が始まっています。しかし収穫中、断続的な降雨があったため収穫作業に遅れが出ました。現在天候は回復しており多くの生産者で1番刈の終盤を迎えており4月中旬までにはベーリングが終了する見込みです。

各サプライヤーの情報によると1番刈全体の30%程度が降雨前に収穫できたものの、残りは雨当たりか刈遅れの品質となっており良品は限定的になる見込みです。このため上級品を求める中東、中国からの引き合いは弱く、産地相場は落ち着いています。

米国産チモシー

主産地であるコロンビアベースンおよびエレンズバーグでは強風の影響で新播の圃場において、表面の土壌とともに種子が風で吹き飛ばされる被害が出ています。20年産の作付面積は19年産取引価格が大きく下がったことで生産意欲は低く、他の換金作物への転作も見られており昨年比で減少する見込みです。生育については今年の冬が暖冬であったことから平年並みからやや早く進捗しています。19年産の産地の在庫状況は上級品について余剰はないようですが、下級品については供給余力があるようです。

スーダングラス

産地では3月に複数回降雨があったため、早播きスーダンの播種作業に遅れが出ており例年に比べて10~14日ほど遅いペースで作業が進んでいます。このため4月1日時点でのスーダンの作付面積は前年同期比66%、10,831エーカーとなっています。

す。一方、産地ではスーダン種子の在庫は潤沢で種子価格も例年並みで推移していることから、今後の天候次第では20年産の作付面積は例年並みまで回復して来るものと見込まれています。多くのサプライヤーでは19年産スーダンの出荷は順調で、ほとんどキャリーオーバーがない状態で20年産の収穫を迎えます。



3月中旬撮影 播種を終えたスーダンの圃場

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

20年産クレイングラスについて、圃場への水入れが開始されています。生育は今のところ順調で、早ければ4月下旬から5月上旬に収穫が開始されます。19年産の出荷は順調で、一部低級品をのぞき在庫量も適正とのことで、20年産に向けて余剰在庫はあまり発生しない見込みです。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

日本、韓国からのペレニアルライグラスストローとフェスクストローの需要は引き続き堅調です。産地相場についても需要に牽引される形で堅調に推移しています。産地在庫はペレニアルライグラスストロー、フェスクストローともに成約済みで、追加の買付は難しくなっております。

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジ及び同州中部のクレモナでは19年産輸出向け品質のチモシー在庫は大半が成約済みです。日本及び韓国から安定した需要があり出荷も順調です。この出荷ペースが続くと19年産の在庫は各グレードとも余剰在庫なく20年産の収穫を迎えることになりそうです。

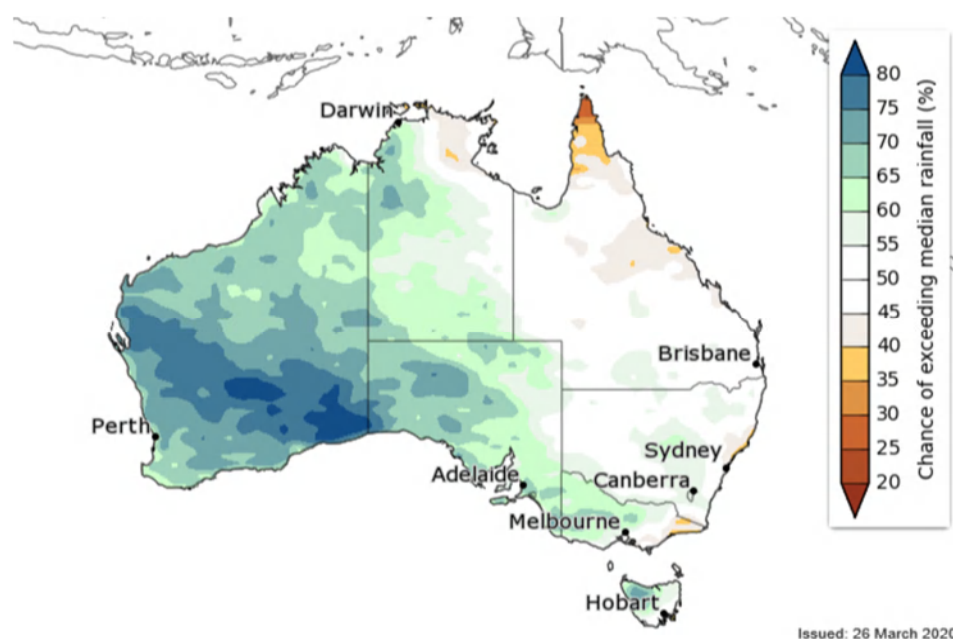
20年産の生産については、19年産の取引価格が下がったものの作付面積は大きく変わらない見込みです。クレモナでは天候リスクと人件費削減を目指し、集草作業が早いビッグバールマシンを導入する生産者が増えています。

豪州産オーツハイ/ウィートストロー

豪州でも3月にコロナウィルスに対する緊急事態宣言が出されています。農業分野は必要産業として区分されており各産地のサプライヤーでは工場を稼働させています。

コロナウィルスの影響を受け北米産のスケジュールが乱れていることから、一部北米産の需要が豪州産オーツハイ及びウィートストローへシフトしています。この影響で産地サプライヤーの製造能力を超過するオーダーが入っており直近の製造スケジュールは逼迫しています。

20年産の生産については2月以降断続的に降雨があり土壌水分量は増加しています。豪州気象局によると西豪州のこの先4-6月は例年の降雨量を超える確率が高いと予想されています。クロープに良い影響があることが期待される一方で播種後、すぐに大量の降雨があると種が流れてしまう危険性もあるため今後の状況に注視が必要です。



西豪州の広い範囲で4-6月は平均降雨量を超える見込み（豪州気象局 HP より引用）

豪州コンテナ船情勢

豪州航路でも北米同様、船会社は GRI を発表しています。船社によっては経済の鈍化を懸念し豪州航路でも中国向けを中心にサービスの減便を行っています。また豪州から日本への経由地として活用されているシンガポール港のコンテナヤードで混雑が発生しています。貨物が滞留し予定されていた内航船への積載ができずに日本への入船が遅れるというケースが発生しています。

以上